

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <https://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

タマ生化学株式会社 中村 裕道

9月下旬の能登半島を中心に発生した豪雨により被害に遭われた皆様、並びにそのご家族の皆様にお見舞い申し上げます。能登半島地震の復旧・復興が進んでいるなかでのことですが、皆様の安全と一日でも早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、9月20日は研修会開催となり、今年度は一般社団法人大日本水産会への訪問となりました。大日本水産会は明治15年に設立され、水産業の振興をはかり、経済的、文化的発展を期することを目的とされている団体で、国と水産業者との橋渡しをされています。また、能登半島地震、東日本大震災における復興支援活動もされています。

1. 「水産資源の有効活用:未利用魚、未利用部位を考える」

一般社団法人大日本水産会 魚食普及推進センター 事業課 課長 早武 忠利 先生

世界的な気候変動、人口増(富裕層増)といった影響により食料難が想定される中で、水産資源の有効利用の一つとして未利用魚・低利用魚を活用するといった内容でした。しかし、これらの魚は認知度、イメージ、手間、大きさ、キズ、時期などによって広く流通されていないのが現状です。こういう魚をスパスパッと調理出来たら格好いいですね。

早武先生が所属される魚食普及推進センターは、水産物消費拡大に向けた魚食普及に関する様々な活動(ホームページ:<https://osakana.suisankai.or.jp>、シンポジウム・セミナー、出前授業、資料配布)を行っています。特にホームページには魚に関する文化、さばき方、調理等、とても興味深い情報が掲載されていますので、ホームページをご訪問ください。

2. 「対米水産食品輸出と対EU水産食品輸出について～大日本水産会、日本食品認定機構の事業から」

一般社団法人大日本水産会 輸出促進部 部長 山口 隆宏 先生

大日本水産会では米国、EUにおいてHACCP規則が制定された当初から、日本国内の水産加工施設のHACCP取得支援・認定業務を行い、輸出支援をしてきました。その後、公平性を保つため日本食品認定機構が設立され、現在は機構が登録認定業務を行っています。

最近では、アジア圏内の中国、台湾、東南アジア(タイ)などでもHACCP認証が必要となり、また、冷凍船(加工船)でもHACCPの対応が求められるようで、HACCPの需要は益々高くなっているようです。

《幹事会のうごき》 令和6年9月13日(金)に本年度第5回幹事会を(一財)日本水産油脂協会1階会議室においてZoomを併用して開催した。

- ・一般財団法人大日本水産会における研修会について、詳細を打ち合わせた。
- ・10月23日から10月25日まで東京ビッグサイトで開催される食品開発展への、展示内容について検討した。
- ・引き続きDHA・EPAの広報普及パンフレットについて作成を継続した。

《2024年8月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2024年8月			2024年1月～8月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,965	740,494	376.9	9,381	4,041,848	430.9

《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2024年8月	2024年7月	2023年8月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	4,380	4,750	5,300

<情報>チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2024年第38週	2024年第37週	2024年第38週までの累計	2023年第38週までの累計
チリ	3,023	8,798	1,198,129	1,306,996
ペルー	0	0	2,618,948	808,033